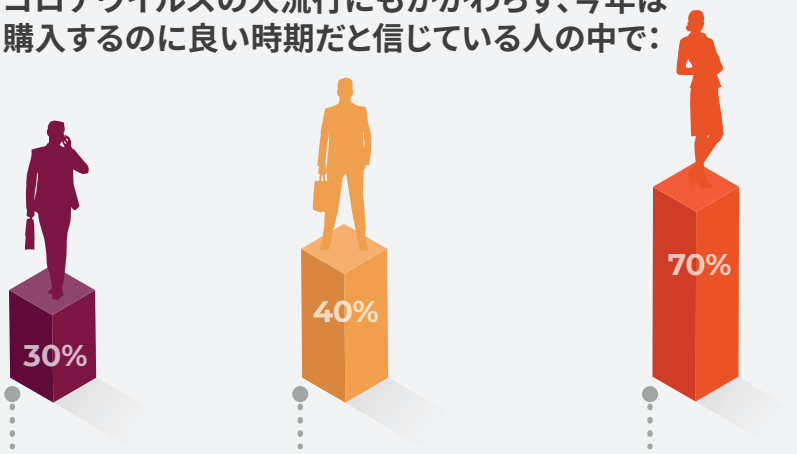
調査　パンデミック市場を好意的に見ている人もいます

パーソナルファイナンスのウェブサイトTheSimple Dollarの調査によると、

ほぼ3分の1

アメリカ人の多くは、2020年は家を買うのに理想的な時期だと信じています

コロナウイルスの大流行にもかかわらず、今年は購入するのに良い時期だと信じている人の中で：



低い競争

住宅購入者の30%は、競争が少ないことを利点と考えています

より低い住宅価格

40%が住宅価格の低下を指摘

低金利

70%が、主な動機付け要因として低金利を挙げています

「現在、高い失業率が一部の住宅購入者の住宅購入を妨げていないことは明らかです。金利は歴史的に低く、多くの場合3%未満であり、買い手はこれらの金利を利用したいと考えています」と、シンプルダラーの金融ライターであるアンジェリカライヒト氏はリリースで述べています。「今すぐ住宅を購入したい住宅購入者は、もちろん、コミットする前に自分の状況を評価し、財政的に実行可能であることを確認する必要がありますが、そうであれば、現在の住宅ローン金利は盗みです。」

調査回答者の51%は、2020年は住宅を購入するのに適切な時期ではないと述べました。それらの41パーセントは経済と市場の不確実性を引用しました。25%は、失業/収入の減少のために家を購入するのに適切な時期ではないと述べました。21%は、この決定が頭金が不十分であると考えています。

「現在、金利は非常に低いが、パンデミックの真っ只中に多くの買い手が住宅の購入をためらうことは理にかなっている」とライヒト氏は述べた。「COVID-19は国の多くに経済の不確実性を引き起こしました、そして、彼らが仕事の安定性または財政について心配するならば、人々は当然そのような大規模な購入をすることを躊躇するでしょう。

「しかし、現在の記録的なレートを利用するのに十分な財政的安定を感じているバイヤーは、長期的に利子で莫大なお金を節約するでしょう」と彼女は言いました。

Source: https://www.thetitlereport.com/Articles/Survey-Some-view-pandemic-market-favorably-80206.aspx